

# 脱・マンネリ！

～楽しみある生活を送るために～

多機能型グループホーム鷹栖なごみの家  
ケアスタッフ 津野 良江  
伊藤 有紀



今回課題に取り組んだきっかけ


入居者の入れ替わり

# グループホーム入居者の 平均要介護度の変化

	洋ユニット	和ユニット
平成31年2月	3.5	3.6
令和 2年2月	3	3.4

衣食住以外にも目を  
向け、楽しい時間を持って  
いただきたい！





# 洋ユニットの取り組み

## 午後の時間が退屈・・・！

午前中は入浴や洗濯物たたみといった役割、ナースによるリハビリがあり、あっという間に時間が過ぎる

午後には仕事がなくなってしまう・・・

すると・・・

する事がなくずっと横になっている

落ち着きなく歩かれる

「迎えにきてと電話して！」と大きな声で叫ばれる



皆で楽しいことをしよう！！



集団でのレクリエーション



# レクリエーションの内容

○カルタ取り

○工作

○風船バレー



etc...

# 取り組みの様子



# 取り組みの様子



## 入居者の反応

- 毎回とても盛り上がっていた  
(特にカルタが人気！)
- 「頭の体操になった！！」
- 入居者同士の会話が増えた




帰宅願望が強かったM.A様は・・・

○どのレクリエーションにも集中して  
取り組まれていた

○レクリエーションの間は「帰りたい」と  
いう言葉は聞かれなくなった





# 和ユニットの取り組み

# 対象入居者：K.F様（94歳）



## 要介護度4

- 食事・・・主食・副食共に常食  
水系にムセがある為、水分はゼリー、汁気のある物は汁を切ってから提示  
全介助で召し上がるも、1時間ほどで疲れてしまい、摂取量は5～8割程度

9月初めより摂取量が低下し、  
3～5割が増えていた

## 対象入居者：K.F様（94歳）

- 排泄・・・リハパン、ワイドパット使用  
基本的には1名で誘導も、膝に力入らないことも多く、立位不安定の際は2名にて対応
- 移動・・・車いすを使用し、全介助にて移動



## 対象入居者：K.F様（94歳）

### ○身体状況

左上下肢に麻痺あり

耳が遠く、右耳に補聴器を付けている


目はとても良く、テレビの字幕を読み上げることも

→9月頃より発語ほとんど聞かれず

### ○ご家族との関係

1男1女いらっしゃるも、関係は良好

娘様ご家族が月に2度、札幌から会いに来られ、一緒にドライブに出掛けられている



食事と臥床の繰り返しの毎日であるK様に、楽しい時間を過ごしていただきたい…！

以前のように、自宅でご家族と一緒に過ごしていただきたい…！

**自宅へ外出しよう！！**

# 自宅外出にあたって準備したこと

○娘様ご家族への協力依頼・日程調整

→喜んで快諾して下さる

○時間帯の調整

→食事の時間を避け、午後tea時に実施

→午前中、外出直前まで臥床し体力温存



# 自宅外出にあたって準備したこと

○スタッフの調整

→主任に協力を依頼

○teaの用意

→茶ゼリーをカップに作っておき持参する



# の様子



# 自宅外出を実施して

- ご家族総出で協力してくださった
- ご家族の声かけに対し発語がみられた
- 食事の摂取量が上がった





# 課題と今後の展望





○レクリエーションはまだ洋ユニットでしかおこなわれていない



全ユニットで取り組めるように 時間を作っていく

○参加出来る方が限られている



軽度の方から重度の方までその人に合わせた楽しみを提供する

# 現在の状況



# 洋ユニット

○集団レクリエーションは現在も継続しておこなっている



# 和ユニット

○まだ集団レクリエーションは実施出来ていない

○一部の入居者様に歌を好まれる方が複数いらっしゃり、空いた時間に歌番組を流して一緒に歌を歌ったりされている



## K.F様の現在

○要介護度5、ターミナル期に入っている

○コロナウィルスの影響で外出はできていないが、窓越し面会でご家族と顔を合わせることができた



ご静聴ありがとうございました！！

